



- ①威風堂々とした分列行進
- ②統監から通常点検を受ける団員
- ③松野保育所幼年消防クラブ員のミニ救急車による救急操法
- ④退職した消防団員の皆さんに感謝状が贈られました。(写真＝前安代地区団長の畠山義雄さん)

消防演習

—火消しの祭典2009



- ⑤ 統監から機械器具点検を受ける団員
- ⑥ 一糸乱れず、号令どおり行進を行う小隊訓練
- ⑦ 30台の消防車両による圧巻の放水訓練
- ⑧ 消防の華、ポンプ操法訓練
- ⑨ 保育所園児のかわいらしい演技
- ⑩ りりしい婦人消防協力隊の皆さん



消防団員の団結を高め、防災技術を向上させるとともに、市民の防火意識を高揚させようと21年度の八幡平市消防演習は6月28日、松尾総合運動公園多目的運動場を主会場に行われました。

市消防団(渡辺東六団長の団員450人と市婦人消防協力隊(津志田レ子隊長)の隊員150人、消防車両36台)が出勤。一糸乱れず整列した団員と隊員は、総指揮者を務める渡辺団長の号令のもと、通常点検や機械器具点検、部隊訓練やポンプ操法訓練などを披露し、その消防技術と士気の高さを披露しました。

幼年消防クラブ演技では、松野保育所幼年消防クラブ員がミニ救急車操法やミニ消防ポンプ車操法を披露。大人顔負けのきびきびとした動作に会場から拍手が贈られました。また、市内の保育所園児140人による演技も行われ、会場は和やかな空気に包まれました。

閉会行事では、講評官の小野寺哲盛岡地区広域行政事務組合消防本部消防長から「極めて優秀な消防演習である」と最高の評価を受け、団員と隊員はさらに士気を高めていました。